



十六銀行

2013.9 営業の中間ご報告

第239期 ミニディスクロージャー誌

平成25年4月1日～平成25年9月30日



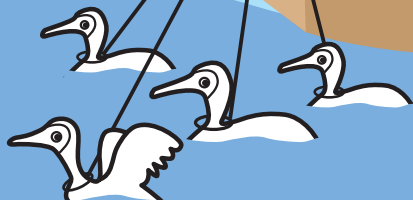
十六銀行からの
お知らせです



「J-Pointスタイル」
キャラクター
フエルーちよ®



「J-Pointスタイル」
キャラクター
タマルーにや®



長良川の鵜飼と岐阜城をイメージしております。

お客さまのため、地域社会のため、

「新・経営体制」のもと顧客志向を徹底し、さらなる金融サービスの提供に努めてまいります



取締役頭取

村瀬幸雄

この度、十六銀行の頭取に就任いたしました村瀬でございます。皆さまには、平素より十六銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。ここに、当行の営業の概況や平成25年9月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、ミニディスクロージャー誌を発刊いたしました。ご高覧いただき、当行をさらに身近に感じていただければ幸いです。

さて、金融機関を取り巻く環境をみますと、景気は緩やかに回復しつつあるものの、低金利の長期化や競争の激化等から依然として厳しい収益環境が続いており、収益力の強化が重要な課題となっております。また、新たな自己資本比率規制の適用を控え、一段と健全性の向上をはかり、お客さまからの信頼を揺るぎないものとしていくことが求められております。

かかる課題に対し、当行は、新たな経営体制のもと、徹底した顧客志向を標榜し、さらなる金融サービスの提供に努めるとともに、地域経済の活性化のため、適切かつ積極的な金融仲介機能の発揮による金融の円滑化に注力するなかで、収益力の強化をはかってまいります。また、お客さまとの信頼関係をこれまで以上に強固なものとするために、人材育成に注力しコンプライアンス、顧客保護等の徹底に努めてまいります。

こうした取組みを通じて、真に「頼りにしていただける銀行」を目指し、一層の企業価値の向上に邁進してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

当行の概要 (平成25年9月30日現在)

創業	明治10年10月
本店所在地	岐阜市
営業拠点数	
本店	147か所
出張所	11か所
ローンサービスセンター	19か所
海外駐在員事務所	2か所(香港・上海)
店舗外ATM	231か所
資本金	368億円
従業員数	3,464名
預金等残高	5兆1,820億円
※譲渡性預金含む	
貸出金残高	3兆6,622億円

基本方針

十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する。

十六銀行は広い視野に立ち、つねに合理性を貫き堅実な経営により発展をはかる。

十六銀行はすべての職員が安定した生活ができるよう努力する。

経営方針

頼りにしていただける銀行

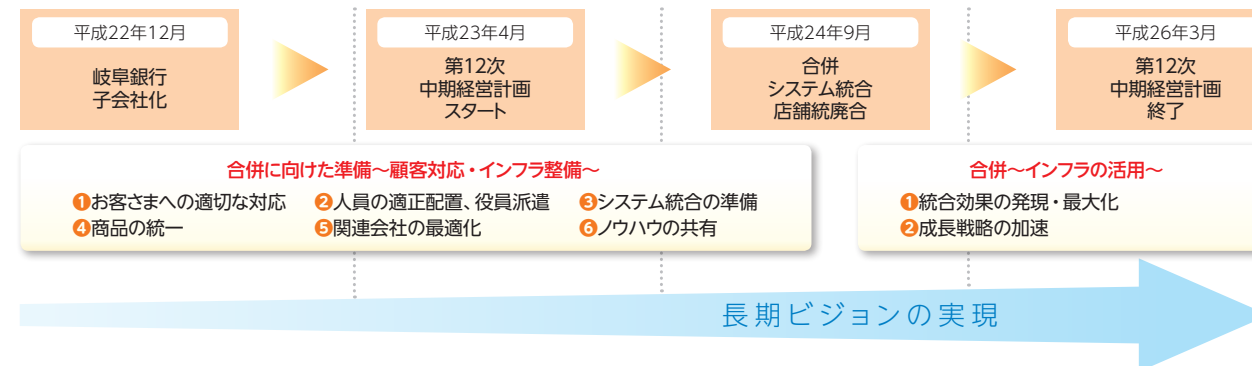
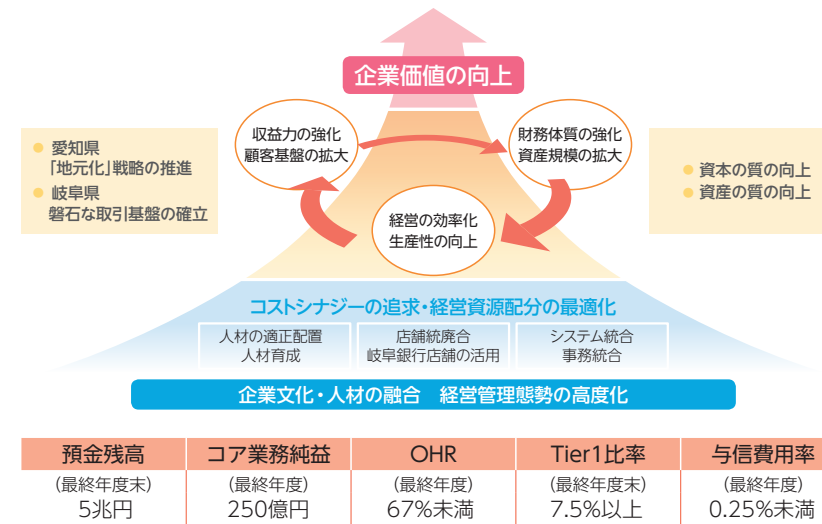
充実した銀行

行動する銀行

第12次中期経営計画

■輝かしい明日へのテイクオフ

平成23年度から3か年を計画期間とする「第12次中期経営計画～輝かしい明日へのテイクオフ～」に取り組んでおります。本経営計画においては、「東海地区においてNo.1の銀行」、「岐阜県と愛知県をつなぐ銀行」、「地域経済、地域社会に貢献する銀行」を長期ビジョンとして掲げ、かかるビジョン実現のファースト・ステップとして、岐阜銀行との統合効果の早期発現・最大化をはかりつつ、成長戦略を加速し、企業価値を高めてまいります。



十六銀行グループのご紹介

- 十六ビジネスサービス(株)〈事務受託業務〉
- (株)十六総合研究所〈調査・研究業務、経営相談業務〉
- (株)十六ディーシーカード〈クレジットカード業務〉
- (株)十六ジェーシービー〈クレジットカード業務〉
- 十六リース(株)〈リース業務・ベンチャーキャピタル業務〉
- 十六コンピュータサービス(株)〈コンピュータ関連業務〉
- 十六信用保証(株)〈信用保証業務〉
- ぎふぎん保証サービス(株)〈信用保証業務〉

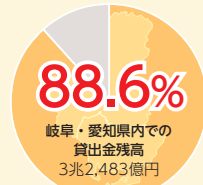
十六銀行は、岐阜県・愛知県を主要な地盤とする地域金融機関として、地域経済の活性化に積極的に取り組み、豊かで住みよい地域社会の実現に貢献したいと考えています。

地域の皆さまとのお取引状況

地域の皆さまへの貸出の状況

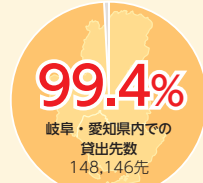
岐阜・愛知県内での貸出金残高割合

(岐阜・愛知県内での貸出金残高/貸出金残高)
(平成25年9月30日現在)
貸出金残高 3兆6,622億円



岐阜・愛知県内での貸出先数割合

(岐阜・愛知県内での貸出先数/貸出先数)
(平成25年9月30日現在)
貸出先数 148,972先

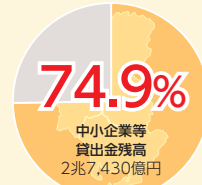


貸出金残高に占める岐阜・愛知県内での貸出金残高割合は88.6%、貸出先数に占める岐阜・愛知県内での貸出先数割合は99.4%です。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指します。

中小企業等に対する貸出の状況

中小企業等貸出金残高割合

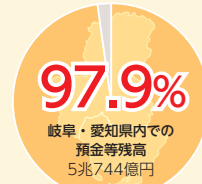
(中小企業等貸出金残高/貸出金残高)
(平成25年9月30日現在)
貸出金残高 3兆6,622億円



地域の皆さまからのお預入の状況

岐阜・愛知県内での預金等残高割合

(岐阜・愛知県内での預金等残高/預金等残高)
(平成25年9月30日現在)
預金等残高 5兆1,820億円



平成25年9月末時点での預金等残高5兆1,820億円のうち、岐阜・愛知県内での預金等残高は5兆744億円で、97.9%を占めています。

※預金等には譲渡性預金を含みます。

じゅうろく 掲示板

シニアのための「くるるセミナー」
(岐阜大学・十六銀行産学連携プロジェクト)

岐阜大学の先生やその道の達人を講師にお招きし、歴史や外国のお話、音楽や工作、パソコン・スマートフォンなど様々な講座を開催し、シニアライフを応援してまいりました。



十六銀行は地域の皆さまの豊かな暮らしを実現するために、地域経済の活性化を支援してまいります。
～地域の皆さまとともに豊かな未来を築いていきます～

「第10回三行（十六・名古屋・百五銀行）ビジネス商談会」の開催

9月11日、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）において、当行、名古屋銀行、百五銀行の共同開催により、お取引先企業の販路拡大や新たなビジネスチャンスを創出することを目的として、ビジネスマッチングの場を提供する「第10回三行ビジネス商談会」を開催しました。当日は約660社による約1,400件の商談が行われました。



「第3回 補助金・助成金サポートセミナー」
—「小規模・創業」「雇用・所得拡大促進税制」など—の開催

7月26日、名古屋市内において、「小規模補助金」「創業補助金」など、アベノミクスで登場した新たな補助金等の情報提供を目的としたセミナーを開催、約70名のお客さまが参加しました。



「ひだみの農産物・加工品産地見学会」

当行では、農業生産者が商工業者と連携し、新商品開発や販路拡大に取り組む「農業の六次産業化」をサポートしています。平成25年8月21日、9月13日、岐阜県と協力し、小売業、飲食業等の食品関連業の方々を対象に、郡上市、飛騨市のこだわり農産物や加工品の生産現場の見学とともに、農業生産者との情報交換や、商談の機会を提供する産地見学会を開催しました。



「名古屋産業科学研究所と産学連携協定を締結」

9月5日、次世代自動車に関する産学連携を目的に、名古屋産業科学研究所と協定を締結しました。同研究所は、各大学の知的資源を民間に橋渡しする「中部TLO」事業や、「次世代自動車地域産学官フォーラム」の実施機関として、大学と民間企業とのコーディネート機能を担っています。同研究所との連携により、取引先企業の次世代自動車への挑戦や参入を支援していきます。

「じゅうろくPFI/PPPセミナー」の開催

8月2日、ウイंकあいちにおいて、地方公共団体などを対象とし、公共施設整備の新たな手法であるPFIやPPPについての情報提供を目的とした「じゅうろくPFI/PPPセミナー」を開催しました。



十六銀行は、幅広い社会貢献活動を通し、豊かで住みよい地域社会の健全な発展に貢献しています。

● 中部学院・十六産学連携「かがく・さんすうアカデミー7」の開催

7月7日、中部学院大学との共催により、同大学各務原キャンパスにおいて、地域の子供たちの科学的・数学的なものの見方を醸成することを目的とした親子で楽しめる体験型イベント「かがく・さんすうアカデミー7」を開催しました。



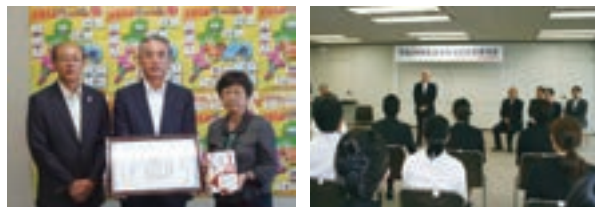
● 夏休み親子特別企画「WAKU! WAKU! キッズフェスタ!」の開催

平成25年7月22日(月)、23日(火)に、夏休み親子特別企画「WAKU! WAKU! キッズフェスタ!」を開催しました。今年は、当行の栗野研修所にて開催し、応募総数708通の中から抽選で、2日間合計100組200名さまをご招待しました。参加した子供たちは、JUICESメンバーのサポートにより「通帳作成模擬体験」を行ったほか、「お金に関するクイズ」により、銀行の役割やお金の大切さを楽しく学びました。また、「当行卓球部の選手との親子5ポイント対決」や「カブトムシふれあい体験」、「食品サンプル作り」などを通じて、夏休みの親子の思い出作りをお手伝いしました。両日とも、各種イベントでは子供たちの笑顔がはじけるなど、終始大変な盛り上がりとなりました。



● 公益財団法人 十六地域振興財団による地域貢献活動

十六地域振興財団は、地域社会への貢献を目的として設立され、地域における産業振興、社会生活環境の整備、文化・スポーツ・国際交流などの活動を助成により支援しております。平成24年度は30件、590万円の助成を行いました。また奨学生支援事業として、平成25年度は63名の奨学生に対して、年間2,520万円の奨学金を給付しております。



● 卓球部の活躍
～地域の皆さまに愛されるチーム作りを目指して～

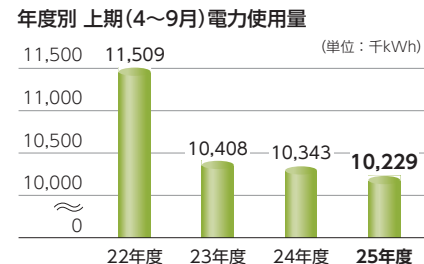
当行卓球部は昭和55年創部以来、皆さまの温かいご支援のもと地道な努力を重ね、日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、女子1部チームとして活躍しています。平成25年度は、「前期日本卓球リーグ」と「全日本実業団卓球選手権大会」で3位入賞を果たすなど好成績を取っています。また、個人では根本選手がユニバーシアード夏季大会で卓球女子団体の一員として金メダルを獲得、野中選手が全日本社会人卓球選手権大会の女子シングルスで準優勝を果たしました。



十六銀行は、自ら行う環境保全活動だけでなく、お客さまのさまざまな環境活動を支援いたします。

● 省エネルギー・節電の取り組み

十六銀行は、本部・営業店・店舗外ATM・その他すべての施設の電力・ガスなどのエネルギー使用量を測定、集計するシステムを導入しています。平成25年上期(4～9月)の十六銀行の総電力使用量は、平成24年9月の岐阜銀行との合併により店舗数・人員とも増加した影響から、昨年と同じ時期に比べ増えるものと予想されましたが、毎月支店ごとの実績を分析し、きめ細かい省エネルギー対策を行った結果、総使用量は昨年を下回り、効率的な運用ができました。



夏の省エネポスター



冬の省エネポスター

● 「環境方針」の制定

当行は平成25年4月に当行グループ全体の「環境方針」を新しく制定しました。この「環境方針」に述べられている「基本理念」や「行動指針」に基づき、本部・営業店の全役職員が、目標を持って環境保全問題に取り組んでいます。

■ 環境方針

基本理念

十六銀行グループは、環境保全への取り組みを社会全体で果たすべき責務であると認識し、地域社会に奉仕する良き企業市民の責任として、事業活動を通じて環境問題に誠実に取り組むことで、持続可能な社会の形成に貢献するとともに企業価値の創造につなげます。

行動指針

1. 環境関連の法律、規則、協定等を遵守します。
2. 環境保全への取り組みは経営課題のひとつであると認識し、活動の情報開示に努めます。
3. 自らの企業活動による環境への影響を正しく捉え、省エネルギー・省資源等の環境負荷の軽減に努めます。
4. 環境に配慮した金融商品・サービスの開発・提供を通じ、お客さまの環境保全の取り組みを支援します。
5. 長期的な視野に立ち、幅広く社会と連携・協力し社会貢献活動を推進します。
6. 役職員一人ひとりの環境意識の向上をはかるため、啓発・教育を行います。

● 岐阜大学との環境分野における連携事業

十六銀行と国立大学法人岐阜大学は平成24年4月に環境分野における連携の覚書を交わし、これまでにさまざまな事業を協力して行ってきました。平成25年度の連携事業としては、北方支店にて岐阜大学教授による太陽光発電をテーマにした「親子科学講座」を実施しました。また、5月から8月に夏の省エネ対策として、岐阜大学の学生の協力による「緑のカーテン」を黒野支店に設置したほか、7月には岐阜大学で当行の行員が講師となり、当行の環境保全への取り組みを題材に、環境マネジメントについての講義を行いました。



北方支店 親子科学講座



黒野支店 緑のカーテン

十六銀行は、皆さまの海外事業展開を支援いたします。

アジア新興市場の拡大により、お取引先企業の海外販路開拓・海外現地生産への取組みが広がっています。十六銀行は、お客さまの海外事業展開を支援するため、本部内に「海外ビジネスサポートデスク」を設置しております。また、海外駐在員事務所・業務提携金融機関との連携により、国内だけでなく現地での支援体制の充実に取り組んでいます。



「タイ・インドネシア リージョナルカンファレンス」の開催

タイ、インドネシアなどアセアン地域への関心が高まる中、前回開催した「タイ・リージョナルサミット」に続き、平成25年8月には、対象国をインドネシアにも拡大し、「タイ・インドネシア リージョナルカンファレンス」として、岐阜・名古屋の2会場で開催いたしました。

駐日タイ大使、駐日インドネシア大使をはじめ、両国関係機関のキーマンらが一堂に会し、投資環境だけでなく、海外からの観光客誘致、行政による海外進出支援体制など、幅広いテーマで活発な意見交換が行われました。



リージョナルカンファレンスの様子

海外実務勉強会の開催

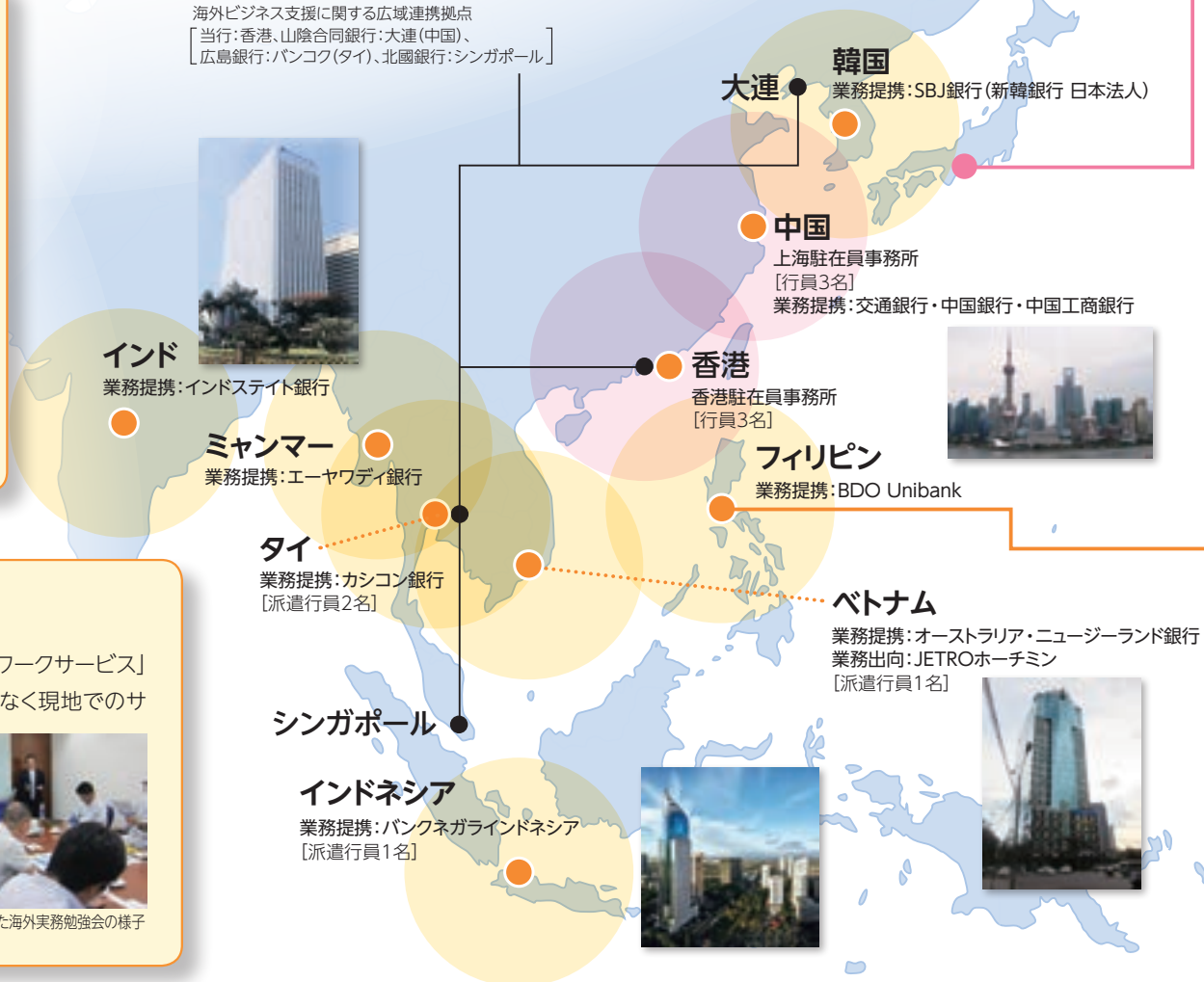
平成25年2月より、無料の会員制サービス「じゅうろく海外サポート・ネットワークサービス」を開始し、当行海外拠点のほか、業務提携先との連携により、国内だけでなく現地でのサポート体制を強化しております。

その一つとして、平成25年5月から、上海、香港、バンコク、ジャカルタ、ホーチミンの各都市で、お取引先企業の海外拠点の方々を対象に、海外実務勉強会を開催いたしました。それぞれの国で抱える問題をテーマにし、毎回20名程度で、気軽に相談できる規模で開催しております。



ホーチミンで開催した海外実務勉強会の様子

海外ビジネス支援に関する広域連携拠点
 [当行:香港、山陰合同銀行:大連(中国)、
 広島銀行:バンコク(タイ)、北國銀行:シンガポール]



市場国際部 海外ビジネスサポートデスク

海外ビジネスセミナーの開催

平成25年4月には、提携銀行であるバンクネガラインドネシアと「インドネシア進出セミナー」、5月には岐阜大学との共催で「岐阜元気企業・外国人留学生交流フォーラム」、また、6月にはジェトロ岐阜などと「東南アジア進出支援セミナー」を開催いたしました。

国内市場の縮小などを背景に、お取引先企業の海外進出が活発化する中、関連機関や業務協力企業とも連携し、海外進出企業のリスク管理、事業展開などについて、情報提供させていただきました。



外国人留学生フォーラムの様子

フィリピン最大の商業銀行 BDO Unibankと業務提携

平成25年7月にフィリピン最大の商業銀行であるBDO Unibankと業務提携を締結しました。この提携により、BDO Unibankを通じて、現地情報の提供のほか、同行のジャパンデスクや拠点網の活用による現地サポートが可能となりました。近年、あらためて、その潜在力、重要性が認識され、注目を集めるフィリピンへの進出支援体制を確立いたしました。尚、本提携により、当行の海外提携銀行ネットワークは8カ国(中国、タイ、ベトナム、インドネシア、インド、韓国、ミャンマー、フィリピン)に広がりました。

当行では、地域密着型金融の推進を第12次中期経営計画の基本方針として掲げ、平成24年4月からスタートした「第5次地域密着型金融推進計画」に基づき、「お取引先企業の支援・育成」、「地域経済の活性化」、「地域社会への貢献」に取り組んでおります。

<主な取組み>

重点項目	具体的な施策
お取引先に対するコンサルティング機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ● 創業・新事業の開拓を目指すお取引先へのサポート <ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜県 - 十六第2号投資事業組合」の活用による投資の取組み ・「第3回 補助金・助成金サポートセミナー」の開催 ● 成長段階における更なる飛躍が見込まれるお取引先へのサポート <ul style="list-style-type: none"> ・「ビジネス商談会in電算システム」の開催(岐阜商工会議所共催) ・「タイ・インドネシア リージョナルカンファレンス」の開催 ・フィリピン共和国 金融機関(BDO Unibank., Inc)との業務提携 ・「東南アジア進出支援セミナー」「岐阜元気企業・外国人留学生交流フォーラム」「海外ビジネス個別相談会」「海外進出企業のための実務対策セミナー」等の開催 ・「第10回三行ビジネス商談会」の開催 ● 経営改善、事業再生・業種転換が必要とされるお取引先へのサポート <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会等、外部機関と連携した経営改善支援 ・岐阜県中小企業診断士協会との連携 ・「中期経営計画策定セミナー」の開催 ● 事業承継を必要とされるお取引先へのサポート <ul style="list-style-type: none"> ・「中部金融M&Aネットワーク」第12回M&Aセミナーの開催 ・オーナー・コンサルティング・デスク(平成25年1月新設)による事業承継支援の取組み強化
地域の面的再生への積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋産業科学研究所との産学連携協定締結 ・「じゅうろくPFI/PPPセミナー」の開催 ・ひだみの農産物・加工品産地見学会への協力
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「かがく・さんすうアカデミー」の開催 ・「WAKU! WAKU! キッズフェスタ!」の開催 ・「十六銀行地域社会貢献推進委員会」の活動 ・「ぎふ清流ハーフマラソン」に協賛 ・じゅうろくてつめいギャラリー

>>> 地域密着型金融とは

地域密着型金融とは、「金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル」と定義されています。

<具体的な施策>

●「十六銀行地域社会貢献推進委員会」の活動

十六銀行グループ会社役職員が一体となり、地域の清掃活動やイベントへの参加など、地域社会への積極的な貢献活動に取り組んでいます。



●「ぎふ清流ハーフマラソン」に協賛



平成25年5月に開催された「第3回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」に地域貢献を目的として、協賛しました。地元の高校生と共同でブースを運営し、高校生が企画・販売したベーグルの売上金相当額の一部を当行が共同の善意として寄付するという取組みをしました。

●じゅうろくてつめいギャラリー

平成19年に旧徹明支店を改装し、「地域の文化活動発表の場」としてオープンしました。コンサートや絵画展の開催場所として、多くの皆様にご利用いただいております。昭和初期の歴史的建造物でありレトロな雰囲気を持つ建物自体も、来館される方々に好評です。



TOPICS トピックス

十六銀行は、企業もまた市民の一人であるという企業市民の立場に立ち、地域社会の一員として、地域の活性化のために求められるさまざまな活動を行っています。

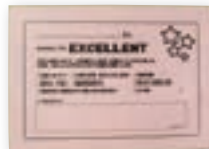


女性CS向上ユニット「JUICES」の活動内容について

当行のCS(顧客満足度)向上を目指し、「お客さまを3S(=Smile、Speed、Service)の対応でお迎えます!!」をテーマとして、女性CS向上ユニット「JUICES」を中心としたCS向上運動を展開しました。

これまでに発行した「ベストCSガイドブック」、「顧客別対応事例集」、「電話対応☆マナー集」の3冊のCSマニュアルを『【CS】三大基本ツール』と位置付けて積極的に活用することにより、全職員のCSマインドを高め、「3S」の実現を目指しています。また、CSにおける優秀者の表彰制度など、職員の意識向上に向けた活動も展開しています。

今後も、「JUICES」とともに全職員が、お客さまに「満足」「感動」「喜び」を感じていただける付加価値の高いサービスの提供に努めてまいります。



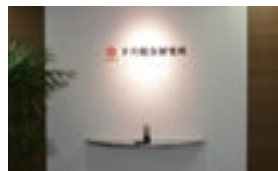
PLAZA JUROKU多治見支店オープン

資産運用への関心が高まるなか、地元のお客さまのご期待にお応えするため、平成25年7月19日に「PLAZA JUROKU多治見支店」を開設しました。PLAZA JUROKUは資産運用のコンサルティング専門店舗で多治見支店は岐阜・名古屋支店に続き3店舗目となります。個室型相談ブースを3室設け、投資信託・外貨預金・国債・年金保険等の相談に「ゆっくり」「ゆったり」「じっくり」応じています。また、30名収容できるセミナールームを1室設け、定期的にセミナーを開催し、お客さまへの情報発信も行っています。

株式会社十六総合研究所の設立について

平成25年6月28日、当行グループにシンクタンクが加わりました。

地域の「シンクタンク」として、お取引先企業へのコンサルティングなど地域密着型金融の推進をはかるとともに、経済情勢や業界動向などを調査・分析し、質の高い情報の提供を通じて地域経済の発展に貢献してまいります。



特集 トピックス

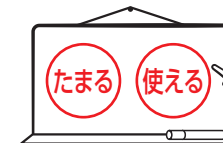
なるほど J-Point スタイル® 講座



タマルーちゃ®

銀行で、ポイントがたまる、使える

お取引が増えるほど特典が増えていく「たまる・使える」楽しいサービス



フエルーちょ®

お申し込みはインターネット・郵送でカンタン 無料!

◎仕組みはシンプル!

普通預金・定期預金などのご預金や、給料振込・年金受取、各種公共料金の口座振替など、お取引を十六銀行でまとめればまとめるほど、たくさんポイントがたまり、特典も増えていきます。



★ステージ毎にたまる毎月のポイント数



◎おトクがいっぱい!

お取引内容に応じて決まるステージ毎に、特典が増えていきます。

特典	ステージ	Jプラチナ	Jゴールド	Jシルバー
ATMご利用手数料 いつでも無料! <small>※一部、対象外となるATMがあります。</small>		●	●	●
貸金庫使用料 3,150円割引!		●	●	
有名ホテル・旅館の ご優待券プレゼント!		●		

ステージや特典などサービス内容の詳細については、店頭でお問い合わせください。ガイドブックもご用意しています。

平成25年12月1日 現在

◎しかも、使いやすい!

たまったポイントは、下記のポイント交換提携企業のポイントや、商品・ギフトカードに交換できます。100ポイントから交換可能という手軽さと、選べる幅広さが魅力です。



平成25年10月1日より「ソフトバンクポイント」との交換を開始しました。

ポイント交換のお申し込み方法

専用ハガキ



インターネット

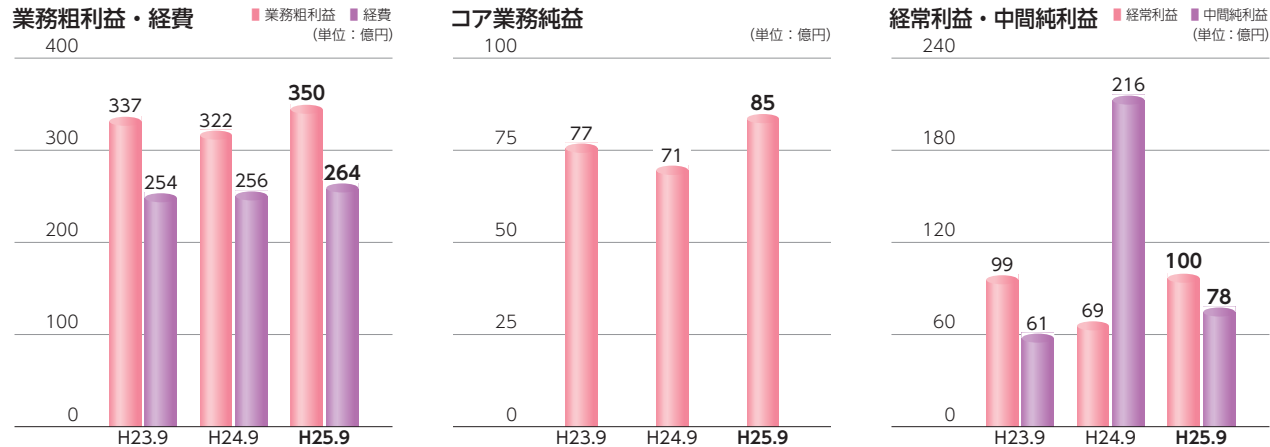
または



パソコンで、スマートフォンで、携帯サイトから!

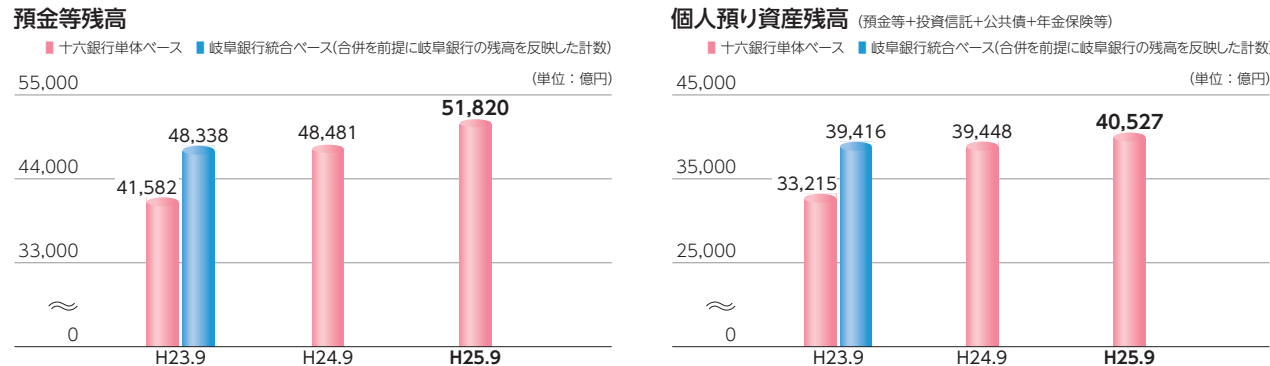
平成25年9月期の決算

経常利益は、コア業務純益が増加したことに加え、有価証券関係損益が改善したことから100億円となり、中間純利益は、前年同期の株式会社岐阜銀行との合併に伴う一時的な利益計上の反動減から78億円となりました。



預金等の状況

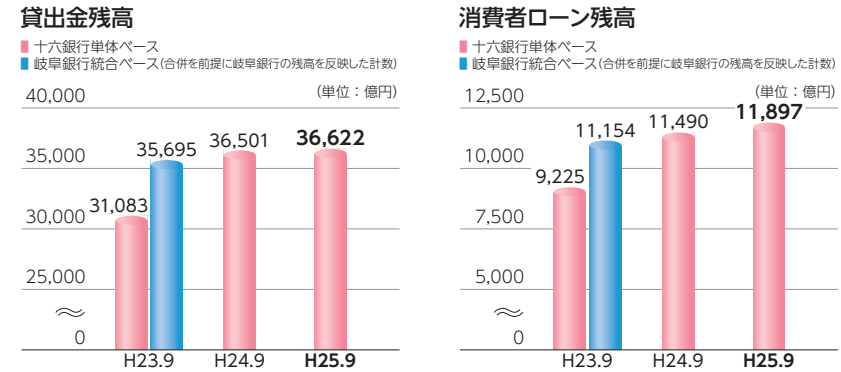
平成25年9月末の預金等残高は、前年同期比3,339億円増加し5兆1,820億円となり、個人預り資産残高は、前年同期比1,079億円増加し4兆5,27億円となりました。



※預金等には譲渡性預金を含みます。

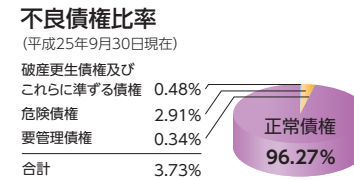
貸出金の状況

平成25年9月末の貸出金残高は、前年同期比121億円増加し3兆6,622億円となり、住宅ローンを含む消費者ローン残高は、前年同期比407億円増加し1兆1,897億円となりました。



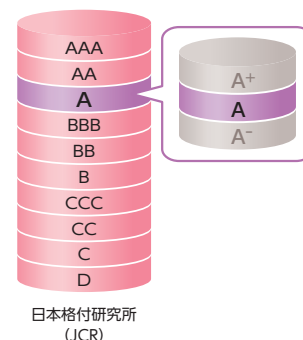
不良債権の状況

「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」に基づく開示債権は、1,393億円となりました。また不良債権比率は3.73%となりました。



格付け

当行は、日本格付研究所(JCR)から「A」格付けを取得しています。



有価証券の評価損益

平成25年9月末の有価証券の評価損益は+729億円となりました。

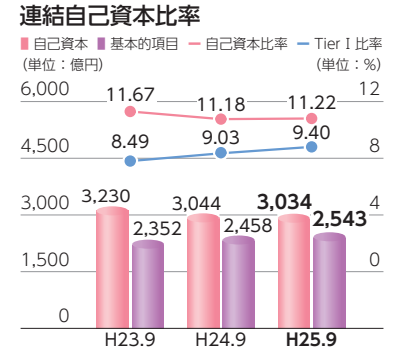
(平成25年9月30日現在) (単位：億円)

	評価損益		
	評価益	評価損	評価損
株式	486	513	26
債券	229	240	10
その他	12	30	17
合計	729	783	54

(注)時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

連結自己資本比率

平成25年9月末の連結自己資本比率は11.22%と国内基準の4%を大幅に上回っています。また、自己資本比率のうち基本的項目(Tier1)の比率は、9.40%となりました。



中間連結貸借対照表

(平成25年9月30日現在)

科目		金額		科目		金額	
(資産の部)				(負債の部)			
現金預け金	199,265	預金	5,039,556	譲渡性預金	115,612		
コールローン及び買入手形	60,000	コールマネー及び売渡手形	13,254	債券貸借取引受入担保金	68,422		
商品有価証券	4,170	借入金	61,232	借入金	61,232		
金銭の信託	10,601	外国為替	1,421	外国為替	1,421		
有価証券	1,672,058	社債	10,000	社債	10,000		
貸出金	3,648,484	その他負債	59,551	その他負債	59,551		
外国為替	5,985	賞与引当金	1,699	賞与引当金	1,699		
リース債権及びリース投資資産	41,553	退職給付引当金	9,769	退職給付引当金	9,769		
その他資産	37,353	役員退職慰労引当金	5	役員退職慰労引当金	5		
有形固定資産	65,489	睡眠預金払戻損失引当金	217	睡眠預金払戻損失引当金	217		
無形固定資産	9,671	偶発損失引当金	1,324	偶発損失引当金	1,324		
繰延税金資産	1,025	繰延税金負債	587	繰延税金負債	587		
支払承諾見返	25,613	再評価に係る繰延税金負債	8,682	再評価に係る繰延税金負債	8,682		
貸倒引当金	△41,739	支払承諾	25,613	支払承諾	25,613		
		負債の部合計	5,416,951	負債の部合計	5,416,951		
		(純資産の部)					
		資本金	36,839	資本金	36,839		
		資本剰余金	47,815	資本剰余金	47,815		
		利益剰余金	157,700	利益剰余金	157,700		
		自己株式	△1,527	自己株式	△1,527		
		株主資本合計	240,828	株主資本合計	240,828		
		その他有価証券評価差額金	48,671	その他有価証券評価差額金	48,671		
		土地再評価差額金	13,601	土地再評価差額金	13,601		
		その他の包括利益累計額合計	62,273	その他の包括利益累計額合計	62,273		
		新株予約権	11	新株予約権	11		
		少数株主持分	19,467	少数株主持分	19,467		
		純資産の部合計	322,580	純資産の部合計	322,580		
資産の部合計	5,739,532	負債及び純資産の部合計	5,739,532	負債及び純資産の部合計	5,739,532		

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

用語解説

資産の部とは
お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式での運用を表す「有価証券」など、主に資金の運用状況を表しています。

負債の部とは
お客さまからお預りしている「預金」など、主に資金の調達状況を表しています。

純資産の部とは
株主の皆さまからのご出資である「資本金」や、これまでの利益の蓄えである「利益剰余金」などを表しています。

経常収益とは
一般企業の売上高に相当し、貸出金利息や各種手数料などの収益を表しています。

経常費用とは
一般企業の売上原価に相当し、預金利息や営業経費などの費用を表しています。

経常利益とは
経常収益から経常費用を控除したものです。

中間純利益とは
経常利益に、特別損益や法人税などを加減して算出した最終的な利益です。

中間連結損益計算書

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

科目		金額	
経常収益	56,302	経常収益	56,302
資金運用収益	34,123	資金運用収益	34,123
(うち貸出金利息)	(26,190)	(うち貸出金利息)	(26,190)
(うち有価証券利息配当金)	(7,755)	(うち有価証券利息配当金)	(7,755)
役員取引等収益	8,030	役員取引等収益	8,030
その他業務収益	11,279	その他業務収益	11,279
その他経常収益	2,868	その他経常収益	2,868
経常費用	44,749	経常費用	44,749
資金調達費用	2,856	資金調達費用	2,856
(うち預金利息)	(2,317)	(うち預金利息)	(2,317)
役員取引等費用	2,829	役員取引等費用	2,829
その他業務費用	9,529	その他業務費用	9,529
営業経費	28,275	営業経費	28,275
その他経常費用	1,258	その他経常費用	1,258
経常利益	11,552	経常利益	11,552
特別利益	2,545	特別利益	2,545
特別損失	185	特別損失	185
税金等調整前中間純利益	13,912	税金等調整前中間純利益	13,912
法人税、住民税及び事業税	2,132	法人税、住民税及び事業税	2,132
法人税等調整額	1,454	法人税等調整額	1,454
法人税等合計	3,586	法人税等合計	3,586
少数株主損益調整前中間純利益	10,325	少数株主損益調整前中間純利益	10,325
少数株主利益	77	少数株主利益	77
中間純利益	10,247	中間純利益	10,247

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第239期中 中間貸借対照表

(平成25年9月30日現在)

科目		金額		科目		金額	
(資産の部)				(負債の部)			
現金預け金	197,331	預金	5,054,860	譲渡性預金	127,212		
コールローン	60,000	コールマネー	13,254	コールマネー	13,254		
商品有価証券	4,170	債券貸借取引受入担保金	68,422	債券貸借取引受入担保金	68,422		
金銭の信託	10,601	借入金	34,510	借入金	34,510		
有価証券	1,673,540	外国為替	1,421	外国為替	1,421		
貸出金	3,662,255	社債	10,000	社債	10,000		
外国為替	5,985	その他負債	39,344	その他負債	39,344		
その他資産	19,524	未払法人税等	731	未払法人税等	731		
その他の資産	19,524	リース債務	239	リース債務	239		
有形固定資産	61,230	資産除去債務	191	資産除去債務	191		
無形固定資産	9,534	その他の負債	38,181	その他の負債	38,181		
支払承諾見返	22,963	賞与引当金	1,579	賞与引当金	1,579		
貸倒引当金	△37,714	退職給付引当金	9,682	退職給付引当金	9,682		
		睡眠預金払戻損失引当金	217	睡眠預金払戻損失引当金	217		
		偶発損失引当金	1,125	偶発損失引当金	1,125		
		繰延税金負債	660	繰延税金負債	660		
		再評価に係る繰延税金負債	8,682	再評価に係る繰延税金負債	8,682		
		支払承諾	22,963	支払承諾	22,963		
		負債の部合計	5,393,937	負債の部合計	5,393,937		
		(純資産の部)					
		資本金	36,839	資本金	36,839		
		資本剰余金	47,815	資本剰余金	47,815		
		資本準備金	47,815	資本準備金	47,815		
		その他資本剰余金	0	その他資本剰余金	0		
		利益剰余金	150,236	利益剰余金	150,236		
		利益準備金	20,154	利益準備金	20,154		
		その他利益剰余金	130,081	その他利益剰余金	130,081		
		優先株式消却積立金	20,000	優先株式消却積立金	20,000		
		別途積立金	99,700	別途積立金	99,700		
		繰越利益剰余金	10,381	繰越利益剰余金	10,381		
		自己株式	△1,527	自己株式	△1,527		
		株主資本合計	233,364	株主資本合計	233,364		
		その他有価証券評価差額金	48,507	その他有価証券評価差額金	48,507		
		土地再評価差額金	13,601	土地再評価差額金	13,601		
		評価・換算差額等合計	62,109	評価・換算差額等合計	62,109		
		新株予約権	11	新株予約権	11		
		純資産の部合計	295,485	純資産の部合計	295,485		
資産の部合計	5,689,422	負債及び純資産の部合計	5,689,422	負債及び純資産の部合計	5,689,422		

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第239期中 中間損益計算書

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

科目		金額	
経常収益	44,147	経常収益	44,147
資金運用収益	33,956	資金運用収益	33,956
(うち貸出金利息)	(26,063)	(うち貸出金利息)	(26,063)
(うち有価証券利息配当金)	(7,725)	(うち有価証券利息配当金)	(7,725)
役員取引等収益	6,068	役員取引等収益	6,068
その他業務収益	1,252	その他業務収益	1,252
その他経常収益	2,870	その他経常収益	2,870
経常費用	34,105	経常費用	34,105
資金調達費用	2,749	資金調達費用	2,749
(うち預金利息)	(2,319)	(うち預金利息)	(2,319)
役員取引等費用	2,695	役員取引等費用	2,695
その他業務費用	740	その他業務費用	740
営業経費	26,711	営業経費	26,711
その他経常費用	1,208	その他経常費用	1,208
経常利益	10,042	経常利益	10,042
特別利益	91	特別利益	91
特別損失	159	特別損失	159
税引前中間純利益	9,973	税引前中間純利益	9,973
法人税、住民税及び事業税	669	法人税、住民税及び事業税	669
法人税等調整額	1,499	法人税等調整額	1,499
法人税等合計	2,168	法人税等合計	2,168
中間純利益	7,805	中間純利益	7,805

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

いつでも どこでも お得 & 便利

じゅうろくにキャッシュカードでお得にお取引！
365日いつでも無料のATM

じゅうろくにキャッシュカードなら下記のATMご利用手数料がいつでも無料でご利用いただけます。

(十六の磁気キャッシュカードでも平日時間内は無料でご利用いただけます。)

主なサービス内容	お引出し	お振込み	お預入れ	残高照会
十六銀行	○	○	○	○
セブン銀行	○	—	○	○
E-net	○	—	○	○
イオン銀行	○	○	—	○

○ご利用いただけます —ご利用いただけません

お客さまの「ATM利用手数料を無料にして欲しい」の声をかたちに。
いつでもどこでも使えるATMネットワークが広がりました。
これからもお客さまの声を大切に、ATMの利便性向上に努めてまいります。

お近くの金融機関でお取引！
無料提携金融機関のATM

下記の無料提携金融機関のATMなら、平日時間内はご利用手数料無料(他行利用手数料無料)でご利用いただけます。

サービス内容			
○お引出し	○お振込み	○お預入れ	○残高照会

三菱東京UFJ銀行・名古屋銀行・愛知銀行・百五銀行・中京銀行・岐阜信用金庫・大垣信用金庫・高山信用金庫・東濃信用金庫・関信用金庫・八幡信用金庫・西濃信用金庫・岐阜商工信用組合・飛騨信用組合・益田信用組合・岐阜県下JA

※ 三菱東京UFJ銀行のATMでお振込みの場合は、他行利用手数料が必要となります。

※ お預入れは名古屋銀行・愛知銀行・百五銀行のATMでご利用いただけます。

※ 岐阜県下JAのATMではお振込みをご利用いただけません。

日本中どこからでもお取引！
ゆうちょ銀行のATM

全国約26,000台のゆうちょ銀行のATMをご利用いただけます。

サービス内容	
○お引出し	○お預入れ
○残高照会	

※ お引出し・お預入れは手数料有料でご利用いただけます。

(平成25年9月30日現在)

ご相談・ご不明な点がございましたら、各種お問い合わせ先をご利用ください。

キャッシュカードサービスに関するご連絡先

内容	電話番号	受付時間
各種キャッシュカードサービスに関するお問い合わせ	0120-69-5416※	月曜日7:00～土曜日21:00 日曜日8:45～21:00
キャッシュカードを盗難・紛失された場合のご連絡		24時間365日

※ 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

各種お問い合わせ先

内容	電話番号	受付時間
商品・サービス・キャンペーンに関するお問い合わせ	0120-50-8616※ 岐阜県・愛知県・三重県以外の地域からは 0584-77-1605(通話料有料)	月曜日～金曜日 9:00～19:00 土曜日・日曜日 9:00～17:00 (祝日および12/31～1/3を除く)
中小企業のお客さまのご返済に関するご相談		
ローン・年金・J-ダイレクト(インターネットバンキング)に関するお問い合わせ		
法人インターネットバンキング・EBサービス・十六でんさいサービスに関するお問い合わせ	0120-126-016※	月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日および12/31～1/3を除く)
資産運用に関するご相談・金融商品仲介に関するお問い合わせ	0120-438-016※	
当行へのご意見・ご要望 “お客さま相談室”	058-265-2111(代表)(通話料有料)	

※ 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

指定紛争解決機関

銀行に関するご相談・ご照会・ご意見・苦情の受付窓口	【当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関】 一般社団法人全国銀行協会 連絡先 : 全国銀行協会相談室 電話番号 : 0570-017109 または 03-5252-3772 受付時間 : 月曜日～金曜日9:00～17:00 (祝日および銀行の休業日を除く)
---------------------------	--

株式事務のご案内

□ 決算日

毎年3月31日に決算を行います。

□ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

□ 配当金

期末配当は、毎年3月31日を基準日として、定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日として、同様の方法によりお支払いいたします。

□ 基準日

定時株主総会については毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

□ 公告方法

電子公告といたします。

インターネットホームページ <http://www.juroku.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および岐阜市において発行する岐阜新聞に掲載して行います。

□ 株式事務取扱場所

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先・郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話 0120-232-711(通話料無料)

□ 株式に関するお手続きの窓口について

- 住所変更、配当金受取方法の指定、単元未満株式の買取・買増、その他各種お手続き
 - 特別口座に記録された株主様
特別口座の口座管理機関である上記三菱UFJ信託銀行
 - 証券会社等の口座に株式をお持ちの株主様
口座を開設されている証券会社等
- 未受領の配当金のお支払い
株主名簿管理人である上記三菱UFJ信託銀行本支店

株式の状況(平成25年9月30日現在)

□ 資本金	36,839,102,011 円
□ 発行済株式の総数	399,241,348 株
普通株式	379,241,348 株
第1種優先株式	20,000,000 株
□ 株主数	
普通株式	21,176 名
第1種優先株式	1 名

株主優待のご案内

毎年3月31日現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し、ナチュラルミネラルウォーター1箱(500mℓ・24本入)を贈呈いたします。



1単元(1,000株)に満たない株式をご所有の株主様へ

「単元未満株式の買増請求制度」と「単元未満株式の買取請求制度」のいずれかをご利用いただけます。

「買増請求」「買取請求」に伴う手数料は無料としています。(ただし、証券会社でのお手続きの場合には、別途手数料が必要となる場合があります。詳しくは、お取引の証券会社にご確認ください。)

- 単元未満株式の買増請求制度とは、1単元(1,000株)に満たない株式を有する株主様が、当行から1単元に不足している株式を買増し、1単元の株式にできる制度です。
- 単元未満株式の買取請求制度とは、当行が株主様から、1単元(1,000株)に満たない株式を買取りさせていただく制度です。
- いずれの手続きも、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)においてお受けしております。
特別口座に記録された株式につきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行においてお受けしております。
- 買増請求につきましては、毎年3月31日および9月30日のそれぞれ10営業日前から当該日までの期間は受付を停止いたします。

十六銀行の店舗ネットワーク

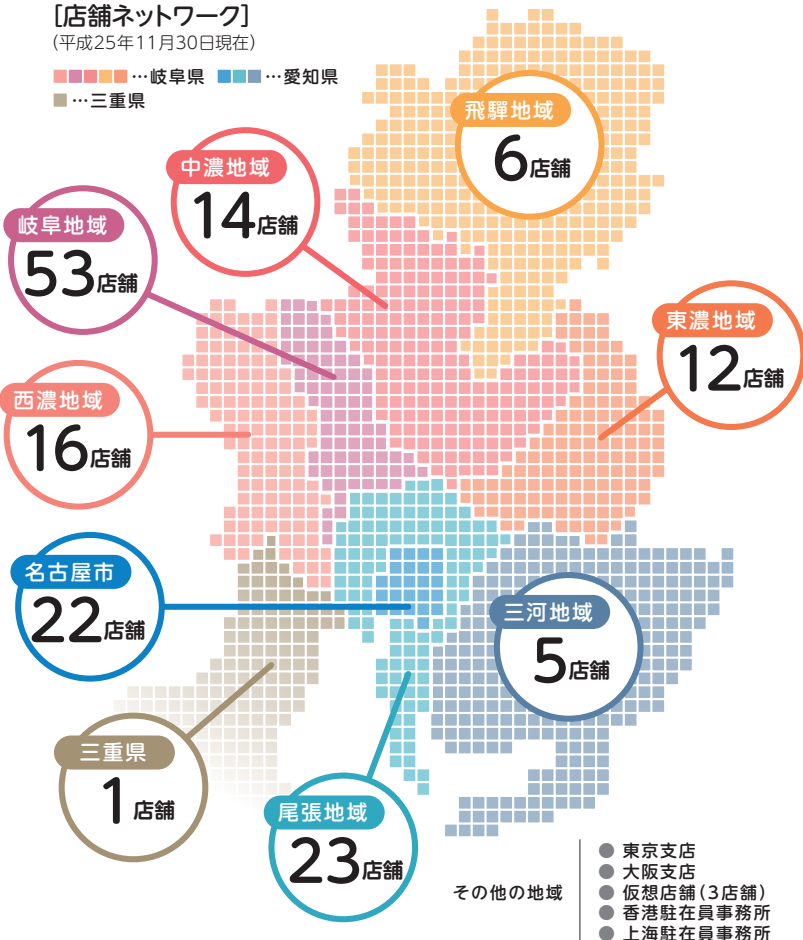
いつも身近にますます便利に

当行は、岐阜県・愛知県を中心に国内157店舗と海外駐在員事務所2か所を有し、お客さまの利便性向上のために、広域な店舗ネットワークを展開しています。

[店舗ネットワーク]

(平成25年11月30日現在)

■…岐阜県 ■…愛知県
■…三重県



PLAZA JUROKU多治見支店 オープン

平成25年7月19日に、資産運用の相談業務に特化した個人向け店舗「PLAZA JUROKU多治見支店」を開設しました。



営業時間 平日 9:00～17:00
土日祝 10:00～17:00

休業日 12/31～1/3の年末年始
および
年末年始に接する土・日

所在地 〒507-0035
多治見市栄町1-24
(多治見支店3階)
Tel 0572-23-1316
Fax 0572-24-5616

想いを叶える
選び抜かれた空間を貴方へ



→ P11でもご紹介しております。ご覧ください。



十六銀行

発行：株式会社 十六銀行 経営企画部ブランド戦略室
岐阜市神田町8丁目26 TEL (058) 265-2111 (代)

平成25年12月発行



各店舗の詳細は、ホームページでご覧いただけます。

十六銀行



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。